

神奈川県みらい未病コホート研究に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	2022年3月22日～2046年12月31日
研究課題	神奈川県みらい未病コホート研究
研究の概要	<p>【本学研究倫理審査委員会での審査範囲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本研究の全体の審査は神奈川県立がんセンターで審査済み。 ・データ管理の部分については、神奈川県みらい未病コホート研究に付随するヘルスイノベーション研究科独自の研究（ロボケア研究、みんちやれ研究等）において、神奈川県みらい未病コホート研究のデータが使用されるため、本学研究倫理審査委員会で審査。 ・神奈川県みらい未病コホート研究における研究情報および生体試料の管理は、神奈川県立がんセンター臨床研究所がん予防・情報学部で運用している ISMS（ISO27001）下で管理される。このため、本学ではデータや生体試料の管理は発生しないことを確認した。 <p>【研究の概要】</p> <p>目的及び意義：「神奈川県みらい未病コホート研究」（Kanagawa “ME-BYO” Prospective Cohort Study）は独自研究部分と「日本多施設共同コホート研究」（Japan Multi-Institutional Collaborative Cohort Study: J-MICC Study）共同研究形式部分とを併せた形式で実施される。本研究の目的は、体質を考慮したがんを含む生活習慣病の予防対策のため、生活習慣の改善により予防が有効な対象者を特定することで、疾患予防対策の根拠を提供することである。これにより神奈川県が掲げる「未病」対策にも貢献する。</p> <p>対象：神奈川県に現住所をおく者ないし、神奈川県内に勤務する者で、調査参加時の年齢が20歳から85歳までの男女を対象とする。J-MICC Studyの対象者においては、質問票が記入できない者は除く。男女それぞれ2.5千人程度を募集する。</p> <p>方法：2016年にパイロット研究を実施し、その後現在ベースライン調査を実施中である（2017～2021年度）。協力者においては、自記式質問票調査および生体試料（血液・尿・便）の収集を行う。質問票調査では、既往歴、運動、睡眠、喫煙飲酒歴、食生活、家族歴、社会経済学的状況、生殖歴などを調べる。収集した血液は、バフィーコート、血漿、血清に分離して、保存する。登録時の健康診断（診査）、各種検診、医療費や介護認定状況などの健康関連情報も研究の対象とする。</p> <p>2021～2026年度には、第二次調査を実施する。生活歴の変化および生体指標の変化を調べるために、質問票調査、生体試料、健康関連情報の取得をベースライン調査と同様な方法で再度実施する。さらに、追採血学会発表、ホームページ、広報誌など神奈川県立がんセンター跡調査をベースライン調査から2036年度まで実施する。追跡調査では、死亡と疾患罹患を追跡する。収集した情報を匿名化し、神奈川県立がんセンターで集積する。また、質問票調査・検診結果・追跡調査情報・生体試料をJ-MICC Study中</p>

	<p>央事務局に提供する。</p>
研究組織	<p>(研究代表者)</p> <p>成松 宏人 神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科 教授 神奈川県立がんセンター臨床研究部がん予防・情報学部 部長</p> <p>(研究分担者)</p> <p>中村 翔 神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん予防・情報学部 客員研究員 神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーション研究科 講師</p> <p>齋藤 義信 神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター 特任研究員</p> <p>岡本 真澄 神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター 研究員</p>
個人情報の取扱い	<p>神奈川県立がんセンター臨床研究所がん予防・情報学部で運用している ISMS (ISO27001) 下で管理される。このため、本学ではデータや生体試料の管理は発生しない。</p>
その他	

対象となる方で、研究の内容や、ご自身の検査結果などの研究への使用に関して、より詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記の間い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

研究代表者： 神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科 教授
 氏名 成松宏人
 TEL : 044-589-8100 (代表)